



千葉

## 富士運輸株式会社 富里支店で 車両火災実証訓練を実施

〈日 時〉1月23日(土) 10:00~  
 〈場 所〉千葉県富里市 富士運輸株式会社 成田支店  
 〈主催者〉富士運輸株式会社(本社 奈良市)  
 〈協 力〉奈良日野自動車株式会社  
 日野自動車株式会社  
 トランテックス株式会社  
 富里消防局

奈良市を基点に全国各地で輸送事業を展開する富士運輸株式会社では、荷主企業の大切な荷物を車両火災から守るため、4トントラックを用いた大規模な車両火災実証訓練を同社成田支店で行いました。

当日は車両火災の原因と対策についての講義に続き、実際にトラックを用いての火災訓練を実施。訓練は後輪およびエンジン・荷室からの出火に気づいたドライバーが、車両を安全に停止させ、通報と初期消火に取り組むことを想定。NHKをはじめとする多くの



開会の挨拶をする  
富士運輸の松岡弘晃代表取締役社長。

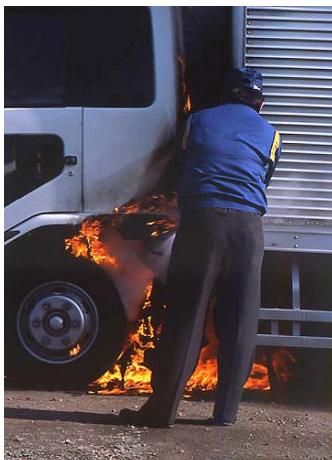
マスコミ関係者が注視する中、参加者の表情は真剣そのものでした。最後は富里消防本部から車両火災防止と対策について指導とお礼があり、訓練は無事終了しました。

ボデーメーカーのトランテックスではサーモグラフでキャブとボデー内外の温度変化を記録。今回得られた貴重なデータは、耐火性に優れたボデー開発に生かされます。

富士運輸株式会社では車両火災事故はまだありませんが、今回の実証訓練を通じて、ドライバーが万一のときにどう対処するべきかを実際に体験できたことは大きな収穫だったようです。



後輪から出火したケースの訓練。初めての経験ですがすばやい動作で対応していました。



エンジンから出火し、キャブ内炎上したケースの訓練。複数のドライバーが消火作業を体験。



ボデーを全焼させ、火災が積荷に与える影響を調査。万一に備え、富里消防本部の日野デュトロ消防ポンプ車が後方で待機。



参考展示された、オイルが劣化により粘りついたベアリングと異常摩耗したライニング。いずれも放置すれば火災につながりかねません。日頃の点検で早期発見が大切です。